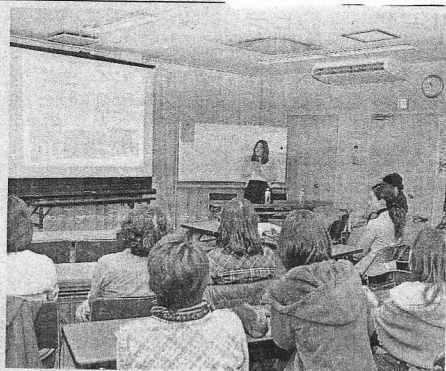


被災地の現状学ぶ

東日本大震災

おかやま
コープ AMDA 職員招き

生活協同組合おかや
まコープ（岡山市北区
奉還町）は19日、間もな
く4年を迎える東日本
（同伊福町）の職員を招



き、現状や今後必要な
支援について学んだ。

コープ東川原店（同
市中区東川原）で、岡
山東エリアの組合員30

東日本大震災
の被災地の現
状と支援につ
いて学ぶ参加
者

人が参加。

AMDA事
務局長補佐
の谷佳世さ
ん（40）と、
被災地で活

動を続ける菅谷安美さ
ん（24）が話した。

菅谷さんは、活動拠
点の岩手県大槌町で
は、子育て世代の移住

による人口減少や仮設
住宅に住む高齢者の引
きこもりが問題になっ
ていると指摘。残った
若い世代のための育児
相談、高齢者向けの料

を開催し、解決に努め
ていることを説明し
た。

谷さんは復興イベン
トに携わるボランティア
派遣、原発事故で風
評被害を受けている福
島産米の購入といった
AMDA本部が行う支
援について報告した。

同国府市場、主婦谷
口美江さん（45）は「被
災地住民の悩みや復興
の課題が分かった。自
分ができる手助けをし
たい」と話した。